

廃漁網リサイクルによる和牛肥育牛舎のカラス侵入防止対策

南丹家畜保健衛生所

○岡田めぐみ 山岡俊幸 山本哲也

5 **【背景】** カラスは、周辺住民からの苦情の原因となり、家畜にサルモネラ、ボツリヌスや
その他の病原体を伝搬し、つつきによる肉用牛の背面損傷・細菌汚染による廃用や飼料の
盗食等、多くの被害をもたらす。そこで、京都府内の漁港から出る廃漁網リサイクルによ
る和牛肥育牛舎のカラス侵入防止対策を指導したので報告する。**【材料及び方法】** 以前か
10 らカラス被害に困っていた約280頭規模の和牛肥育農場で実施。廃漁網は、家保が調達
・保管していた物や調達方法を伝えて農家自らが調達した物を利用した。施工は、予め切
断して長さ調節した廃漁網を屋根梁外周部分に結束バンドで固定して吊り下げる方法と
し、畜舎四方を囲うように設置。施工が難しい部分は家保が協力した。**【結果と考察】** 廃
漁網施工は、作業可能時に2～3名で実施し約2ヶ月を要したが、容易で農家の自力施工
可能な軽作業であった。点検しながら侵入する隙間の補修を加え、現在、カラスの侵入は
15 ない。廃漁網は強度があり、網目1～45cmまで幅があるため、利用方法次第ではスズ
メ等の小鳥やシカ・タヌキ等の侵入防止対策にも有効と考えられた。**【まとめ】** 廃漁網は
容易に自力施工可能で、肥育牛舎のカラス侵入防止対策に適していた。カラスは学習能力
が高く容易に隙間から侵入するため、こまめな点検・補修が必須。現在、管内約380頭
規模の和牛肥育農場でも実施中で、今後も他の畜産農家へ紹介し普及していく。